

2025年7月24日
JR東日本秋田支社

列車と動物の接触等に対する対策について

全国的に熊をはじめとする野生動物の出没件数が増加傾向にあり、鉄道においても列車と動物の接触による遅延等が発生しています。

JR秋田支社では、動物忌避剤の散布を2023年度より開始しました。忌避剤の散布は、動物の線路への侵入を抑制することに加えて、作業従事員の安全確保を目的としています。

2025年度は忌避剤の散布する箇所を拡大し、広範囲で対策を実施します。今後も、動物の出没状況により、効果的な対策を実施します。

1 列車と動物の接触件数

(1) 熊との接触等件数

- ・ 列車との接触件数は、2023年度（46件）をピークに、2024年度（9件）は大幅に減少し、2025年度（2件）はさらに減少しています。
- ・ 年度により変動が大きく、特定の年度に集中している傾向があります。

(2) カモシカとの接触等件数

- ・ 2020年度から2022年度の接触件数は徐々に増加し、2023年度（39件）に急増して以降、高止まりしています。

【列車と動物の接触件数】

※2025年7月10日現在

年度	2020		2021		2022		2023		2024		2025	
接触/目撃	接触	目撃	接触	目撃	接触	目撃	接触	目撃	接触	目撃	接触	目撃
熊	6	22	19	23	9	16	46	81	9	30	2	41
カモシカ	23	-	24	-	28	-	39	-	39	-	16	-

2 列車と動物の接触等に対する対策

(1) 忌避剤散布に関する実績と効果

① 2023年度

奥羽本線の羽後境駅～大張野駅間の一部区間（散布延長8km）に忌避剤を散布した結果、散布区間では熊の目撃はあったものの、衝突は発生せず、一定の効果が確認されました。

② 2024年度

過去の熊の出没状況を踏まえ、田沢湖線、奥羽本線、羽越本線の一部区間（散布延長31km）において忌避剤を散布しました。散布後は熊との接触や目撃件数が減少し、効果が確認されました。



（2024年度 忌避剤散布状況）

(2) 2025年度の計画

2024年度の熊・カモシカの出没状況を考慮し、田沢湖線、奥羽本線、羽越本線、五能線の一部区間（散布延長64km）で、7月から8月にかけて忌避剤を散布します。

※羽越本線については、5月に散布済みです。